

製品名: SENP7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17730**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	112kDa

抗原情報

遺伝子名	SENP7
別名	SENP7; KIAA1707; SSP2; SUSP2; Sentrin-specific protease 7; SUMO-1-specific protease 2; Sentrin/SUMO-specific protease SENP7
遺伝子 ID	57337.0
SwissProt ID	Q9BQF6
免疫原	抗血清はヒト SENP7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 991-1040

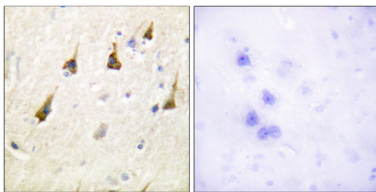
背景

小さなユビキチン様SUMOタンパク質 (SUMO1; MIM 601912 参照) の付加によるタンパク質の可逆的な翻訳後修飾は、多くの細胞

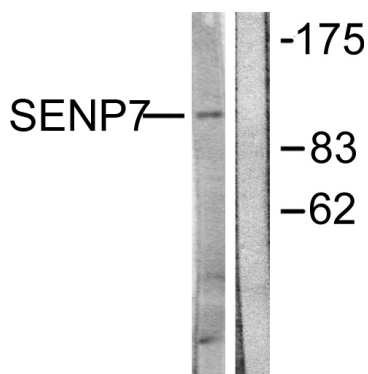
プロセスに必須です。SENP7 などの SUMO 特異的プロテアーゼは、SUMO 前駆体を分解して、結合反応に必要な C 末端ジグリシンモチーフを生成します。また、SUMO 結合基質の脱結合に対するイソペプチダーゼ活性も示します (Lima and Reverter, 2008 [PubMed 18799455])。[OMIM 提供、2009 年 6 月],代替製品: 一部のアイソフォームについては実験的確認が不足している可能性があります。注意: ここに示す配列は Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備データとして考慮する必要があります。機能: 標的タンパク質から SUMO2 および SUMO3 を脱結合するプロテアーゼですが、SUMO1 は脱結合しません。ポリ SUMO2 鎖およびポリ SUMO3 鎖の脱共役を触媒する。全長 SUMO タンパク質を成熟型に変換する効率は非常に低い。類似性: ペプチダーゼ C48 ファミリーに属する。

研究分野

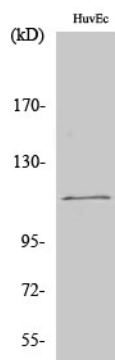
画像データ



SENP7 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



SENP7 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



SENP7 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。